

年間授業計画

柏江 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典探究演習

教科：国語 科目：古典探究演習 単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 9 組

教科担当者：

使用教科書：「古典探究」（大修館書店）、「完成古典〈古文・漢文〉大学入学共通テスト対策」（尚文出版）、
 「すらすら読める速読古典Ⅱ」（文英堂）、「大学入試最新国語頻出問題」（文英堂）、
 「アップリフト古文 入試標準改訂第四版」（Z会）、「古典文法基礎ドリル」（河合出版）
 「精説漢文必修ノート」（いっずな書店）「パワーマックス共通テスト対応模試 古文・漢文×8」（Z会出版）

教科 国語 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】古典を学ぶことを通して、日本の言語・言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】言葉が持つ価値への認識を深めると共に、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】多様な古典に親しみ、自己と社会への理解を深化させることで、物事を豊かに感受し、幅広く考える姿勢を培う。

科目 古典探究演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典に用いられる語句の意味や用法への理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。また、古代語の文法や修辭などの表現の特色についての知識を身につけ、様々な時代・ジャンルの文章を読解できる高度な力を養う。	読むことを通じて、関心を持った事柄に関連する様々な古典の作品や文章を元に、自分の物の見方、感じ方、考え方を深める。様々な時代とジャンルの作品に多く触れることで、日本語の変遷を知り、古代と現代の言語文化について概観し、古代語の視点からも考察できる力を養う。	古典の文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、日本語の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。また、様々な時代の作品に触れ、筆者の思想や多様な価値観を理解し考察しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		語	書	読						
1 学 期	A 【知識及び技能】古文や漢文を読む上で基本的かつ重要な語句や文法、句法などを習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】文章の内容や構成、展開などの叙述を捉え、解釈につなげさせる。問題演習で、設定時間内に解答する実践的な力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】古典作品の歴史的・文化的背景や関連知識を学ぶことで、古典への造詣を深め、視野を広げる。	・指導事項 文法：助動詞、助詞 句法：否定形、使役系、疑問形 ・教材 『大鏡』『道真の左遷』 ・副教材 『完成古典』①～⑧ 『発心集』 『西鶴諸国ばなし』 『鶉衣』 『玉勝間』『伊勢物語古意』 『韓非子』『莊子』 『童子問』『史記』	○	○	○	【知識及び技能】 古文や漢文を読む上で基本的かつ重要な語句や文法、句法などを習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、展開などの叙述を捉え、解釈につなげている。問題演習で、設定時間内に解答する実践的な力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典作品の歴史的・文化的背景や関連知識を学ぶことで、古典への造詣を深め、視野を広げている。	○	○	○	24
	定期考査			○		○	○		1	
1 学 期	B 【知識及び技能】古文や漢文を読む上で基本的かつ重要な語句や文法、句法などを習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】文章の内容や構成、展開などの叙述を捉え、解釈につなげさせる。問題演習で、設定時間内に解答する実践的な力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】古典作品の歴史的・文化的背景や関連知識を学ぶことで、古典への造詣を深め、視野を広げる。	・指導事項 文法：識別 句法：否定形、反語形、受身系、選択形、抑揚形 ・教材 『蜻蛉日記』 副教材： 『完成古典』⑨⑩⑬⑭ 『今昔物語集』 『袋草紙』『無名抄』 『とはずがたり』 『史記』 漢詩など	○	○	○	【知識及び技能】 古文や漢文を読む上で基本的かつ重要な語句や文法、句法などを習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、展開などの叙述を捉え、解釈につなげている。問題演習で、設定時間内に解答する実践的な力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典作品の歴史的・文化的背景や関連知識を学ぶことで、古典への造詣を深め、視野を広げている。	○	○	○	24
	定期考査			○		○	○		1	

